

## 2026(令和8)年度 国際学術研究助成決定一覧

(公財) 平和中島財団

### 1. 国際学術共同研究助成 (決定7件/応募88件)

研 究 課 題	研究代表者 (参加者)	助成額(万円)
トゥールーズ図書館蔵『日葡辞書』稿本をはじめとするキリシタン新出資料の国際共同研究 (人)	岸本 恵実 大阪大学 文学部 教授 (7)	300
多民族空間としてのウクライナの20世紀史の研究 (人)	村田 優樹 東京大学 大学院 法学政治学研究科 准教授 (5)	200
戦前バタヴィア(1600-1945)における「外来東洋人」：日本人と唐人の生活世界・社会統合・アイデンティティ政治 (社)	孔 徳維 早稲田大学 高等研究所 講師 (11)	497.9
温暖化に伴うモンゴル高原北部・連続永久凍土地帯の水質環境影響調査に関する国際共同研究 (理)	勝田 長貴 岐阜大学 教育学部 教授 (6)	500
地球温暖化に対する生物の生活史応答機構の解明と集団動態予測モデルの構築 (理)	佐藤 拓哉 京都大学 生態学研究センター 教授 (7)	494
水と二酸化炭素から有用物質を作り出す人工光合成システム開発に関する国際共同研究 (工)	石田 洋平 東京都立大学 大学院 都市環境科学研究科 准教授 (5)	500
新興感染症パンデミックの記憶の国際共有による将来のパンデミックの流行・重症化予測と制御：日本-ベトナム-メキシコによるデータ駆動型国際共同研究 (保)	間辺 利江 名古屋市立大学 大学院 データサイエンス研究科 准教授 (14)	500

### 2. アジア地域重点学術研究助成 (決定28件/応募116件)

研 究 課 題	研究代表者 (参加者)	助成額(万円)
ユダヤ人難民とアジア社会—神戸・ハルビンを事例に (人)	徐 亦猛 福岡女学院大学 国際キャリア学部 教授 (4)	150
社会主義モンゴルの宣伝映画にみる寒雪害(ゾド)観と災害対応の変容 (人)	富田 敬大 神戸大学 大学院 国際文化科学研究科 特命助教 (3)	149.8
漆液生産と技術支援を通じた漆工芸の伝承に関する研究—ラオス・カンボジアの事例に着目して— (人)	松島 さくら子 宇都宮大学 共同教育学部 教授 (4)	144.8
モンゴル国オヴオルハンガイ県オロン・スム寺院址の本格発掘調査—16~17世紀モンゴル仏教寺院の成立と廃絶過程の解明— (人)	三宅 伸一郎 大谷大学 文学部 教授 (5)	150
イラン・イラク国境地域クルド社会のネットワーク形成に関する研究：イスラムと部族的紐帯に着目して (人)	松永 泰行 東京外国語大学 大学院 総合国際学研究院 教授 (5)	150

ドル化社会カンボジアにおける家計の金融包摂の研究 (社)	永野 護 成蹊大学 アジア太平洋研究センター 所長 (4)	150
資産バブルの産業間雇用への伝播：理論及び中国の検証 (社)	万 軍民 福岡大学 経済学部 教授 (2)	150
経済成長下のインドにおける高学歴若年層の失業—教育の効果と雇用移行過程の分析— (社)	辻田 祐子 埼玉大学 大学院 人文社会科学研究科 教授 (3)	150
アジアの社会的ウェルビーイング国際比較可能性に関する研究—ラオスにおける測定枠組み構築に向けた予備調査— (社)	飯沼 健子 専修大学 経済学部 教授 (7)	150
構造化メンタリングによる教育格差の縮小：タイの低所得世帯児童生徒を対象としたRCT (社)	SAMUTPRADIT Saisawat 大阪大学 大学院 経済学研究科 講師 (3)	150
日本の「国策代理機関」と対アジア政策—日本政治外交における思想的連続性の再考— (社)	中原 雅人 桃山学院大学 共通教育機構 講師 (3)	150
マングローブ生態系を基盤とした地域主導型ツーリズムのガバナンスモデル構築—DPSIRM モデルによるインドネシアと日本島嶼部における分析 (社)	香坂 玲 東京大学 大学院 農学生命科学研究科 教授 (4)	150
インドネシア原産 <i>Myrica</i> 属植物からのアルツハイマー病治療薬開発を目指したシード化合物の探索 (理)	高取 (木下) 薫 明治薬科大学 薬学部 教授 (8)	150
アジア恐竜相の起源解明：モンゴル最古の化石産出層の高精度年代測定及び分類学的研究 (理)	高崎 竜司 岡山理科大学 生物地球学部 助教 (7)	150
電解質多糖類を用いたナノ複合粒子の創製と応用研究 (工)	湯口 宜明 大阪電気通信大学 工学部 教授 (3)	150
亜熱帯地域に適合する省エネかつ省管理型下水処理技術の開発：マレーシアにおける実証試験 (工)	押木 守 北海道大学 大学院 工学研究院 准教授 (4)	150
アジアのグローバルスタンダードな環境と経済の両立に寄与する地球温暖化対策に貢献可能な森林DX管理システムの実証的開発 (農)	中島 徹 東京大学 大学院 農学生命科学研究科 助教 (9)	150
西スマトラ州の伝統知に基づく有効かつ公平な農業用水管理システムの模索 (農)	大上 博基 愛媛大学 大学院 農学研究科 教授 (3)	150
新たな植物資源を創出する甘藷の細胞工学研究と国際共創 (農)	荻田 信二郎 県立広島大学 地域基盤研究機構 教授 (4)	150
タイの昆虫食・食用ウキクサ食文化を利用した屋内循環型の安定食料生産システムの構築 (農)	武田 征士 安田女子大学 理工学部 教授 (3)	150
タイをフィールドとして活用する新たなフラビウイルスエコロジーの理解 (農)	小林 進太郎 北海道大学 大学院 獣医学研究院 准教授 (6)	150

国際共同研究に基づくデング熱重症化の分子病態解析と治療標的探索 (保)	池田 輝政 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター 教授 (4)	150
熱帯地域における結核に隠れた慢性肺アスペルギルス症診断の為に IgG 基準値の再設定と臨床実装に向けた検討 (保)	田中 健之 長崎大学 熱帯医学研究所 教授 (10)	150
ラオス乳癌組織を用いた BRCA 変異検出法の確立と AI による変異予測 (保)	副島 友莉恵 東京科学大学 大学院 医歯学総合研究科 准教授 (8)	150
マレーシアの野生動物に潜む人獣共通ウイルスの探索と感染リスク評価 (保)	金井 祐太 和歌山県立医科大学 医学部 教授 (5)	150
スリランカにおける二日熱マラリアのヒトへのスピルオーバー感染調査 (保)	金子 修 長崎大学 熱帯医学研究所 教授 (8)	150
アジア地域の香辛料摂取に伴う地域・遺伝背景別ドーピングリスク評価と予防戦略の構築 (保)	坂元 政一 九州大学 大学院 薬学研究院 准教授 (6)	150
デングウイルス感染における tRNA 由来フラグメント (tRF) を介した病態形成機構の解明 (保)	田村 友和 九州大学 大学院 医学研究院 准教授 (5)	150